

平成 27 年度 第 4 回・熊本市行財政改革推進委員会 議事録（要旨）

1 日 時

平成 28 年 3 月 28 日（月） 午前 10 時から午前 11 時 30 分まで

2 場 所

熊本市役所本庁舎 4 階 モニター室

3 出席委員（敬称略、順不同）

澤田道夫（会長）、西村まりこ（副会長）、末廣淳、西橋久美子、徳富幸平、林田久美子、加賀志津枝、滝口靖憲

4 配布資料

資料 1-1～3 点検結果の総括

資料 2 第 5 次行財政改革計画の進捗状況の報告

5 次 第

(1) 開 会

(2) 会長あいさつ

(3) 議事

議題ア 第 5 次行財政改革計画の進捗にかかる点検結果の報告について

・・・資料 1-1～3

議題イ 第 5 次行財政改革計画の進捗状況の報告について・・・資料 2

議題ウ 平成 28 年度行財政改革推進委員会の実施内容について

(4) その他

(5) 総務局長あいさつ

(6) 閉 会

## 6 議事録（要旨）

澤田会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これより、本日の議題に入る。</li> <li>・まず、議題ア「第5次行財政改革計画の進捗にかかる点検結果の報告について」議事を進行する。</li> <li>・先般行った点検の結果について事務局から報告をお願いします。</li> </ul>
行政経営課副課長	資料1-1～3に基づき点検結果の総括について説明
澤田会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の点検について質問や意見はないか。</li> </ul>
加賀委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの点検項目に目標や課題が掲げられていたので、結果の総括ではそれらに対する具体策を示していただきたかった。課題に対する具体的な取組内容をしっかり引き継いでいかないと、同じ問題が繰り返されてフェードアウトするのではないかとの懸念がある。</li> </ul>
澤田会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員から出された意見を今後どのように生かしていくと考えているのか。</li> </ul>
行政経営課副課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・点検を行った委員会には各担当課も出席しており、委員からの意見は当然承知しているが、再度各担当課へ伝え、進捗状況の確認を徹底していきたいと考えている。</li> </ul>
澤田会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員から出された貴重な意見を、聞くだけで終わらせず継続的に生かしていく方法を検討していただきたい。例えば、昨年指摘があった事項についてどのように対応したのか報告をする機会を設けるなど。そうすることで委員としても言って終わりにならず、双方向の話し合いができると思う。</li> </ul>
澤田会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それでは、次に、議題イ「第5次行財政改革計画の進捗状況の報告について」事務局から説明をお願いします。</li> </ul>
行政経営課副課長	資料2に基づき第5次行財政改革計画の進捗状況について説明
澤田会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明のあった2つのプログラムについて質問や意見はないか。</li> </ul>

加賀委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ収集業務は全て民間委託なのか。</li> </ul>
廃棄物計画課課長補佐	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在は完全民間委託ではなく、家庭の焼却ごみについては5割を直営で行っている。その他の埋立てごみなどは全て委託している。</li> </ul>
加賀委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間だから2名乗車、直営だから3名乗車なのか。</li> </ul>
廃棄物計画課課長補佐	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そうではない。ただ、民間は事実上2名乗車で業務を行っている。</li> </ul>
加賀委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間委託になり時間通りに収集されることに驚いている。個人的な意見としては、通勤・通学時の安全面を考慮して3名乗車体制がよいのではないかと考える。また、従事者の労働環境にも配慮していただきたい。</li> <li>・発電余剰電力売却契約について、そもそも入札は公平であったのか。</li> </ul>
東部環境工場長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の入札は条件付一般競争入札であり、国に登録されている電気事業者であり、なおかつ熊本市の登録業者であれば入札に参加できるという条件のもと入札を行った。</li> </ul>
加賀委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福岡では電力の地産地消に取り組んでいる。熊本市も非常にいい焼却場を持っているのでもっと生かしてもらいたい。</li> <li>・売却された電力はどれくらいの世帯数をまかなえる量なのか。</li> </ul>
東部環境工場長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東部環境工場分だけで約3,000件の世帯をまかなえる。西部環境工場については焼却量が少ないため発電量がその分少ない。</li> </ul>
加賀委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西部環境工場の近隣は農業地帯なので、そこへの活用も図れるのではないかと。</li> </ul>
東部環境工場長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在新しい西部環境工場が稼働しているが、そちらでは近隣のビニールハウス等に活用されている。</li> </ul>
西村委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ収集について、民間委託となり本当に時間通りに収集に来るようになった。3名乗車であるのに越したことはないが、民間が2名乗車で行っているのであれば直営も2名乗車で行えるのではな</li> </ul>

<p>総務局長</p>	<p>いか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5割だけを民間に委託しているのはなぜか。</li> <li>・ 乗車人数については、行革を進めるうえで、収集職員による啓発業務の強化と乗車体制の見直しを掲げ、2名乗車を前提で考えている。</li> <li>・ 民間委託の割合について、徐々に直営の割合を減らしてきて現在5割となっている。全てを民間に委託するという考え方もできるが、今年の台風のような災害が起こった際に、市民から出される様々な廃棄物を収集するのは、現在の民間の体制では難しい。都市の安全や機能を確保することを考えると、一定の割合は直営としておくべきだと考えている。割合については議論があるところだが、平成34年までは直営を存続させるという方針である。</li> </ul>
<p>西村委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 都市の安全保障の視点もあるということか。</li> </ul>
<p>総務局長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ そのような視点もある。台風等は毎年来ることを前提に考えないといけない。</li> </ul>
<p>西村委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検証が難しかったとのことだが、その要因は何か。</li> </ul>
<p>総務局長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現場レベルでは3名乗車がいいのではないかとの意見もある。しかし、我々としては2名乗車で調整を行っている。検証が続くということではなく、検証により出された問題の調整を行っている。</li> </ul>
<p>西村委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 雇用に関することであるため丁寧な対応が求められることは理解できる。</li> </ul>
<p>林田委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ごみの収集は運転を伴うので、安全面を考慮すると3名乗車でもよいのではとも感じる。</li> </ul>
<p>加賀委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 台風を理由に挙げているが、年に数回のこのために直営を維持するのはどうなのか。今年の台風の折も時間をかけてでも全て収集に来てくれていた。必ず収集に来てくれる態勢であるならば、即時の対応でなく時間がかかっても構わない。</li> </ul>

西橋委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>私の自宅周辺は通学路になっており、ごみ収集作業が遅くなると子どもたちの下校時間、早いと登校時間と重なってしまうため、作業を手伝ったことがある。ただ、そのような地域の手助けは常に期待できるものではないため、安全対策の一つと考えれば3名乗車でもいいのではないかとと思う。特に運転手は運転のみに専念してもらいたい。また、ごみ置き場も数多くあり、業務量を考えても、多くの人手で作業に従事してもらいたい気持ちもある。</li> </ul>
澤田会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全の確保や作業員の労働環境への配慮について多くの意見がでている。これらの問題については住民の協力も必要不可欠だと考える。今後は行革の推進と併せて住民の方の安心・安全の確保についても検討を進めていただきたい。また、職員の意識向上への啓発も含めて取り組んでいただきたい。</li> </ul>
末廣委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>期間を平成34年までとしているのはなぜか。</li> </ul>
行政経営課副課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>熊本市の総合計画の実施期間に合わせて設定をしている。</li> </ul>
総務局長	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年ほど総合計画とはずれているが、総合計画を市長の(2期就任を前提とした)任期に合わせて整理をしている。</li> </ul>
滝口委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>私の家の前が不要物収集置場になっている。市の職員の方ともよく会うがとても礼儀正しい。職員の方には、ただ単にごみを収集するという意識ではなく、社会環境、住民の生活環境を良くするという意識で従事してもらいたい。経費を節約するばかりでなく、安全面等にもきちんと配慮していただきたい。</li> <li>発電余剰電力売却契約について、未収金が発生しているのは熊本市だけではないので、同じ状況にある他都市などとも連携して国への働きかけを検討するなど未収金の回収に取り組んでいただきたい。</li> </ul>
徳富委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>民間もぎりぎりの体制で業務を行っているということであれば、それだけ従業員労働環境等も厳しいのではと推測される。効率化は必要ではあるが、民間に委託した際は、その委託先の労働環境にも気を配っていただきたい。</li> </ul>

西村委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみをきちんと出すことは市民生活の第一歩であり、とても大事なことだと思う。滝口委員の言うように、職員の方にも誇りを持って従事していただきたい。また、従事者の地位向上が図られるような仕掛けや地域との交流など、意識を向上させる取組がもっと必要なのではないか。やりがいと誇りがあれば労働効率も上がるかもしれない。</li> </ul>
西橋委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業員も時間や気持ちの余裕があれば、もっと地域住民の声を拾えるのではないか。また、コミュニケーションをとることによって住民も今まで以上に協力的になると思う。</li> </ul>
総務局長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効率化を進めるだけでなく、啓発業務にも人員を割いていきたいと考えている。地域と積極的にコミュニケーションを図ることでより一層啓発を進めていきたい。</li> </ul>
滝口委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみという表現ではなく、家庭内不要物などの表現で考えていけばよいのではないか。また、町の見廻りとまで行かずとも、ごみを収集する際にそのルートに関する情報収集も併せて行えるとよいのではないか。</li> </ul>
林田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集合住宅などはごみ出しのルールが守られていないことも多い。不動産会社への指導も強化していただきたい。</li> </ul>
加賀委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集合住宅などはその集合住宅単位でごみを出さないといけないのか。</li> </ul>
廃棄物計画課課長補佐	<ul style="list-style-type: none"> <li>・決まりはなく、それぞれ異なる。</li> </ul>
加賀委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集合住宅を建てる際にごみステーションなどを設置しなければいけない規定はないのか。</li> </ul>
廃棄物計画課課長補佐	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そのような規定はない。</li> </ul>
澤田会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集合住宅によって考え方がまちまちである。</li> </ul>
西村委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これらの問題は行政ばかりに求めてもいけないと思う。</li> </ul>

澤田会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確かに住民側の問題も存在する。</li> </ul>
澤田会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それでは、次に、議題ウ「平成 28 年度行財政改革推進委員会の実施内容について」事務局から説明をお願いします。</li> </ul>
行政経営課副課長	議題ウについて説明
澤田会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の委員会を振り返って何か意見などはあるか。</li> </ul>
加賀委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大まかで構わないので年間スケジュールを示してもらいたい。</li> </ul>
澤田会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第 1 回を開催した際に示すとよいのではないか。</li> </ul>
滝口委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PDCA の A の部分、アクションが少し不足している。今後はその部分にもう少し力を入れていただきたい。他の委員会にも共通しているが、アクションの部分はどうしても抜けがちになる。</li> </ul>
澤田会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に今年は C の部分、チェックが年度の後半になったことでその振り返りを行うのが難しかった。チェックした結果をどう生かすのかを考えていく必要がある。</li> </ul>
加賀委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度ごとにテーマを限定して議題を設定すればより深い議論になるのではないか。</li> <li>・委員が意見を言うだけでなく、もっと行政側の意見や主張も聞きたい。</li> </ul>
澤田会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この委員会は、熊本市をより良くしていくための場だと考えている。委員と行政が今まで以上にディスカッションできるような運営方法を検討してもらいたい。</li> <li>・点検の時期を秋頃に前倒しする理由はなにか。</li> </ul>
行政経営課副課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度も秋頃で考えていたが開催に至らなかった。その時期に開催を考えているのは、予算編成前であること、振り返りの期間を設けることなどが理由である。</li> </ul>

徳富委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政全体の大きなテーマを議論しつつ、より掘り下げた個別テーマを議論していけばよいのではないか。</li> </ul>
澤田会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別テーマばかりだと議論に偏りが出ることも懸念されるため、熊本市全体の話と個別テーマを議論するなど、バランスも考慮して運営方法をどんどんブラッシュアップしていきたい。</li> </ul>
西村委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>点検について、来年は別のテーマになるのか。</li> </ul>
澤田会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>そうである。点検については時間的な制約もあるため、課題となっているプログラムを取り上げることになる。</li> </ul>
澤田会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>以上で本日の議題は終了する。</li> <li>3月末をもって委員の任期が満了となるため、この際委員より一言ずつ挨拶をいただきたい。</li> </ul> <p>委員挨拶</p>
澤田会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>それでは、事務局に進行を委ねる。</li> </ul>
行政経営課副課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務局を代表して総務局長より挨拶をさせていただきます。</li> </ul>
総務局長	<p>総務局長挨拶</p>
澤田会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>それでは、これで、第4回行財政改革推進委員会を閉会する。</li> </ul>